

軽量厚付けペースト漆喰

nippon
plaster
since 1929

土壁メンテ 中塗り漆喰

練り混ぜ
加水不要

最大10mmの
一発厚塗り

大きな
不陸調整に
最適



標準仕様	製品名	適用部位	施工面積	標準塗り厚	製品荷姿
	土壁メンテ 中塗り漆喰	既存土壁の欠損部補修・不陸調整	塗り厚 5mmの場合:約2.4㎡/缶 塗り厚 10mmの場合:約1.2㎡/缶	3~10mm	18kg (プラスチック缶)

Best Walls, Best Life しつくと共に

日本プラスター株式会社

1 土壁の状態確認および脆弱部分の除去

まず、補修を行う土壁の劣化（風化）具合を確認します。**土壁の劣化が激しく、手で容易に取れるほど脆弱になっている場合は、劣化部分をしっかり除去してください。**また、手で擦ってパラパラと簡単に落ちるような場合や汚れが付着している場合は、ほうき等で表面の脆弱層や埃をしっかりと落としてください。



竹小舞が露出した劣化部分など、手で容易に土壁が剥がれる部分は予めしっかりと除去してから施工をしてください。

2 表面強化剤の塗布

土壁が脆弱な場合は、**浸透型表面強化剤（ウルトラノ浸透プライマー）**を塗布して土壁の表層を強化します。施工対象面にウルトラノ浸透プライマーの原液を刷毛や噴霧器等で**2回塗布**してください（1回目から2回目までの工程間隔は1時間以内としてください）。塗布したウルトラノ浸透プライマーが手に付かなければ次工程に進めます。施工対象面に竹小舞や通し貫が露出して**アクの発生が予測される箇所**も、脆弱な土壁面と同様に**ウルトラノ浸透プライマーの原液を2回塗布**してください。

土壁に劣化が見られず十分な強度があることを確認し、問題がない場合、下地からの気泡抑制および接着性向上を目的として、NPシーラックの3倍～5倍希釈液を刷毛等で1回塗布してください。



（ウルトラノ浸透プライマー）



（NPシーラック：4kg・18kg）

3 土壁メンテ中塗り漆喰による欠損部補修・不陸調整

欠損して大きく凹んでいる部分や柱周りに大きな隙間がある場合は、先行して土壁メンテ中塗り漆喰による付け送りを行ってください。その場合、**標準期：中1日以上、冬期：中3日以上**の養生期間をおいてから全面塗りに進んでください。

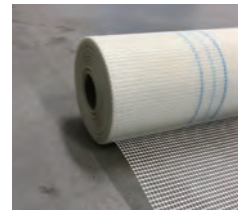


4 土壁メンテ中塗り漆喰による全面塗り

大壁仕様の場合は、下地補強およびひび割れ防止を目的として、耐アルカリガラスネット（当社製品）を伏せ込んでください。
※ネットは上下左右で10cm程重ねてください。

コテに力を十分にに加え、下地に擦り付けるように塗りつけてください。その後、所定の厚さになるよう調整しながら、表面を平滑に整えてください。**最大塗り厚は10mmを限度**とし、それ以上の厚みを塗り付ける場合は、**標準期：中1日以上、冬期：中3日以上**の養生期間をおいてから塗り重ねてください。水引きの具合に合わせて、霧吹きで水を軽く噴霧しながら、綺麗なコテで表面を押さえると平滑性が上がります（過度の水かけは、ひび割れの原因となる恐れがあります）。

仕上げ材の施工までの養生期間は、**標準期：中1日以上、冬期：中3日以上**です。通風や直射日光による塗付け面の急激な乾燥を防止するため、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート養生を実施してください。



（耐アルカリガラスネット）

5 上塗り漆喰による仕上げ塗り

土壁メンテ中塗り漆喰による不陸調整が十分でない場合、所定の養生期間をとった後、マルチベースを上から塗り付けて、平滑な下地を作ってください。マルチベース1袋（20kg）に対して清水7.5ℓを入れ、ハンドミキサーで3分以上十分に攪拌してください。コテに力を十分にに加え、下地に擦り付けるように塗りつけてください。その後、所定の厚さになるよう調整し表面を平滑に整えてください。仕上げ材施工までは、**標準期：中1日以上、冬期：中3日以上**の養生期間をおいてください。通風や直射日光による塗付け面の急激な乾燥を防止するため、必要に応じて屋内では開口部の閉鎖、屋外ではシート養生を実施してください。

施工部位や仕上げパターンに応じて、弊社上塗り用漆喰（漆喰くるむシリーズ、カルヌーヴォ、はいしっくいなど）で仕上げ塗りを行ってください（各製品の施工要領に必ず従って施工してください）。



（マルチベース）

●気温が5℃以下および35℃以上になる場合は、施工を見合わせてください。●本製品は凍結厳禁です。一度凍結したものは使用できません。●本製品は既調合品であるため、現場での水を足しての練り直しは絶対行わないでください。●既存の土壁に顕著なひび割れがある場合は、その周辺が浮いている可能性があります。その場合はVカットを行って剥離部分を除去してください。●施工道具を洗浄した洗浄水を河川や側溝に破棄しないでください。●製品は製造年月日を確認し、製造日から12ヶ月以上のものは使用しないでください。●材料が余った場合は、表面が空気に触れないように付属のラップフィルムを余った材料の上にのせ、容器を密閉して冷暗所で保管してください。●本施工要領書は、一般的な土壁改修をマニュアル化したものであり、全ての状況の土壁改修を保証するものではありません。

注意事項

＜使用上の注意＞
●取扱い時は必ず保護具（保護手袋・保護眼鏡・マスク等）を着用してください。●取扱いは換気の良い場所にて行ってください。
●取扱い後はうがい及び手洗いを十分に行ってください。●取扱い後の器具類は早めに水洗いしてください。
＜応急処置＞
●目に入った場合……直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。
●皮膚に付着した場合……直ちに水で良く洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
●誤飲した場合……大量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。
＜運送上の注意＞
●容器の損傷による内容物の漏れが無い事を確認してください。●転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。
＜廃棄上の注意＞
都道府県条例に基づき処理する許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
＜漏出時の注意＞
飛散したものは掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などに回収してください。
排水は中和、希釈処理などにより、河川等に直接流出しないように対策をとってください。



日本プラスター株式会社

本社・工場/〒327-0311 栃木県佐野市多田町188-2
TEL:0283-62-6511(代) FAX:0283-62-8851

東京営業所/〒110-0015 東京都台東区東上野3-38-4
TEL:03-3831-3239(代) FAX:03-3835-2048

西日本営業所/〒604-8305 京都府京都市中京区市町170
TEL:075-406-5031(代) FAX:075-406-5032

E-mail:info@plastesia.com

日本プラスター

検索